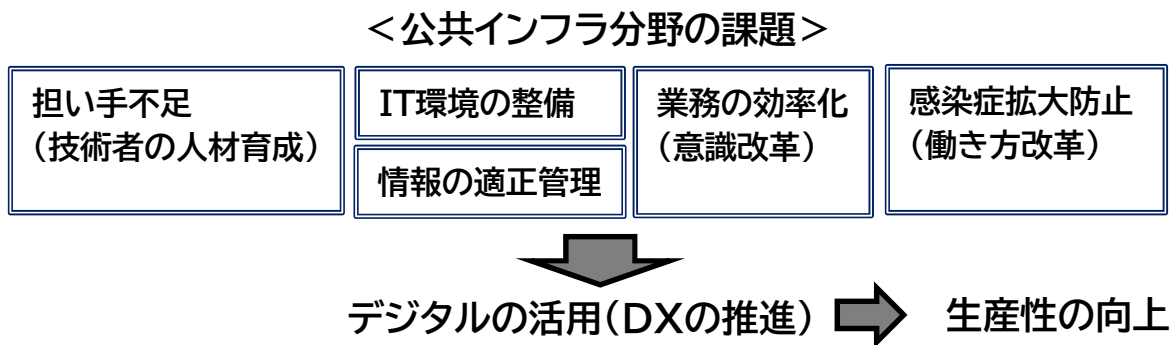


## 公共工事関係部署のDX推進プランについて

### 1 公共工事関係部署のDX推進プランとは

本市のDXの指針である「北九州市DX推進計画」(令和3年12月策定)のもと、公共工事関係部署(技術監理局や建設局など)において、「公共インフラ分野のDX」固有の課題を踏まえ、具体的な取組(ICT活用工事の推進など)を明示し、実践するためのプラン。



### 2 本プランの概要

#### (1) 公共工事関係部署が目指すべき姿(ビジョン)

公共インフラにおける課題をデジタル技術を活用し解決するため、官民連携で人材を育成し、「生産性向上」や「働き方改革」に公共工事関係部署で取り組み、市民ニーズに迅速かつ的確に対応する。

～ 職員がやる気に満ち、円滑に市民サービスを提供する職場を目指して ～

#### (2) 成果目標

- ① インフラDX(i-Construction)研修の受講者数(令和3年度比) **2倍**
- ② 技術研修のWeb活用率 **50%**
- ③ オンライン会議の実施率 **70%**
- ④ テレワーク実施率(月1回以上実施) **80%**
- ⑤ 紙の使用量(令和2年度比) **50%削減**

(3) 取組期間 : 令和3年度から令和7年度

(4) 取組対象 : 公共工事、施設管理、防災・減災

(5) 推進体制 : 「公共工事関係部署DX検討会議」(事務局:技術監理局)

※メンバー:危機管理・技術監理・環境・産業経済・建設・建築都市・

港湾空港・区役所・上下水道の各局(室・区)係長級職員

## (6) 取組内容

### ①取組方針(スローガン)

人材育成・意識改革

制度改正・環境整備

生産性向上・働き方改革

### ②主な取組

○「官民連携による人材育成」

・「北九州市 i-Construction 推進協議会」主催の研修の実施

○「AI・ロボットの活用」

・ICT 活用工事の推進

・公共インフラ(道路施設)の維持管理における AI の活用 など

○「Web の活用」

・オンライン監督・検査の実施 など

## 3 本プランの実行における課題と取組

### (1) 課題

○市技術職員及び市内建設業者の意識改革

○市技術職員及び市内建設業者のインフラ DX 人材の育成

○ICT 活用工事や施設点検に用いる新技術の導入促進

### (2) 取組

○DX 研修(e ラーニング)や PR 動画による「インフラ DX」の普及啓発

○「i-Construction」研修や現場見学会(ICT 活用工事・施設点検)の開催

## 4 今後の予定

地元建設業界と連携しながら、人材の育成を図り、本プランの着実な実行による公共インフラ分野の課題解決に取り組む。

### (1) 本プランの公表

市議会(建設建築委員会)報告後、市ホームページにて公表予定

### (2) 本プランのフォローアップ

「公共工事関係部署DX検討会議」(事務局:技術監理局)にて各局の取組状況を確認し、技術監理局が進捗管理を行い、適宜本プランの取組内容の見直しを行う。